

講義コード	11C0100811	授業形態	演習	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	英語リーディング2 J					小長谷 マサエ		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	主にリーディング力を養う。近年、世界に流れる情報をすばやく捉えて読みとる能力が要求され、社会人になってからもこうした英語読解力が求められているため、速読力の向上を重視する。授業では、英語リーディングIより高度な文法や英文読解の技術を応用しながら、速読で内容を把握できる力を訓練する。また、より多様で高度な文にも対応できるよう、いっそう語彙を増強し、複雑な文の構造が含まれた長文も理解できるようにする。この訓練によって、TOEICのリーディング・セクションのスコアを伸ばせるような力をつける。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 語彙数を英語リーディング1より、さらに200-300語程度増やす。 2. 英語リーディング1より高度な英文を、すばやく読んで理解するために必要な、より高度な文法を習得する。 3. 英語リーディング1より高度な英文をざっと読んで (scanning/skimming)、大意をつかむ。 4. 日常生活に必要な多様な英語を読んで理解でき、英語の問いにも英語で回答し、英語で内容説明やコメントができるようになる。 5. シャドーイングや音読で英語の自然なリズムを身につけ、リスニング力を向上させる。 6. TOEICのリーディング・セクションの問題形式を熟知し、より難易度の高い問題も理解できるようになる。 								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の授業に向けて教科書等を読み、理解する。 2. 担当講師から与えられた課題を行う。 3. 単語等、前回学習した内容を復習する。 4. 大学のWebClassが提供するe-learningを活用する。 5. テレビ、ラジオなどの語学講座や、インターネット上の英語関連サイト、参考書等を有効に使う。上記の学修を自身で15時間以上行うこと。 								
授業計画	【第1回】～【第15回】 ①読解の応用的テクニックを習得し、語彙力をさらに増強する。 ②応用的文法を習得し、より複雑な文構造を理解する。 ③ TOEICのリーディング・セクションの問題に慣れ、より難易度の高い問題も解けるように訓練する。								
成績評価の方法	期末、小テスト等の各種テスト (60%)、授業への参加態度 (40%)								
フィードバックの内容									
教科書	各担当講師の指示に従う。								
指定図書	『TOEIC新公式問題集 Vol. 6』 Educational Testing Service (著), 国際ビジネスコミュニケーション協会 TOEIC 運営委員会 (編集) (国際ビジネスコミュニケーション協会) 2014年								
参考書									
教員からのお知らせ	①教科書や辞書は担当の先生の指示に従ってください。 ②大学のWebclassが提供するe-learningを積極的に活用してください。TOEICのe-learningを利用した場合の評価基準は、各担当の先生に確認してください。 ③ TOEIC 団体試験 (9月末～10月始め)の結果は担当教員に提出され、成績評価に加味されます。入学から10月までに行われる TOEIC 試験で、各自の TOEIC スコア最高値が、経済学部で上位50位程度に入る場合、2年生から始まる English Intensive Class (EIC) に加入することができます。EIC に加入すると、TOEIC のスコアを伸ばし、英語運用能力全般を伸ばす EIC 限定授業を履修することができます。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									